

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。
この旅行は2025年4月1日現在を基準としています。
■旅行契約の解除
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
<解除時期・取消料> ※オプションルツアーも同様です。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

利用予定航空会社

利用予定バス会社

ANA(全日本空輸)
またはJAL(日本航空)
またはスカイマーク

ゆいバス、おろくバス、
豊見観光バス、那覇バス、
琉球バス交通、北部観光バス

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第84号

JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

 株式会社 富士国際旅行社

〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者:西須 輝理

TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201
henshu@fits-tyo.com 担当:西須(さいす)/山田

営業時間:月～金曜日／AM10:00～PM6:00
(休業日:土日・祝日)
ホームページ: http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。右記QRコード(ホームページ申込フォーム)からもお申込みいただけます。 ②申込金20,000円(旅行費用内金)または旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

郵便振替口座番号 00140-4-39332 加入者名 株式会社 富士国際旅行社

恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。(領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください)
③ツアー実施確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。
④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などの、ご旅行資料を送付いたします。

ウェブ申込フォームはこちら



株式会社 富士国際旅行社 宛
●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、 同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書

元山仁士郎さん・畠山澄子さん に行く「慰霊の日」に訪ねる沖縄の旅

2025年6月20日(金) 発

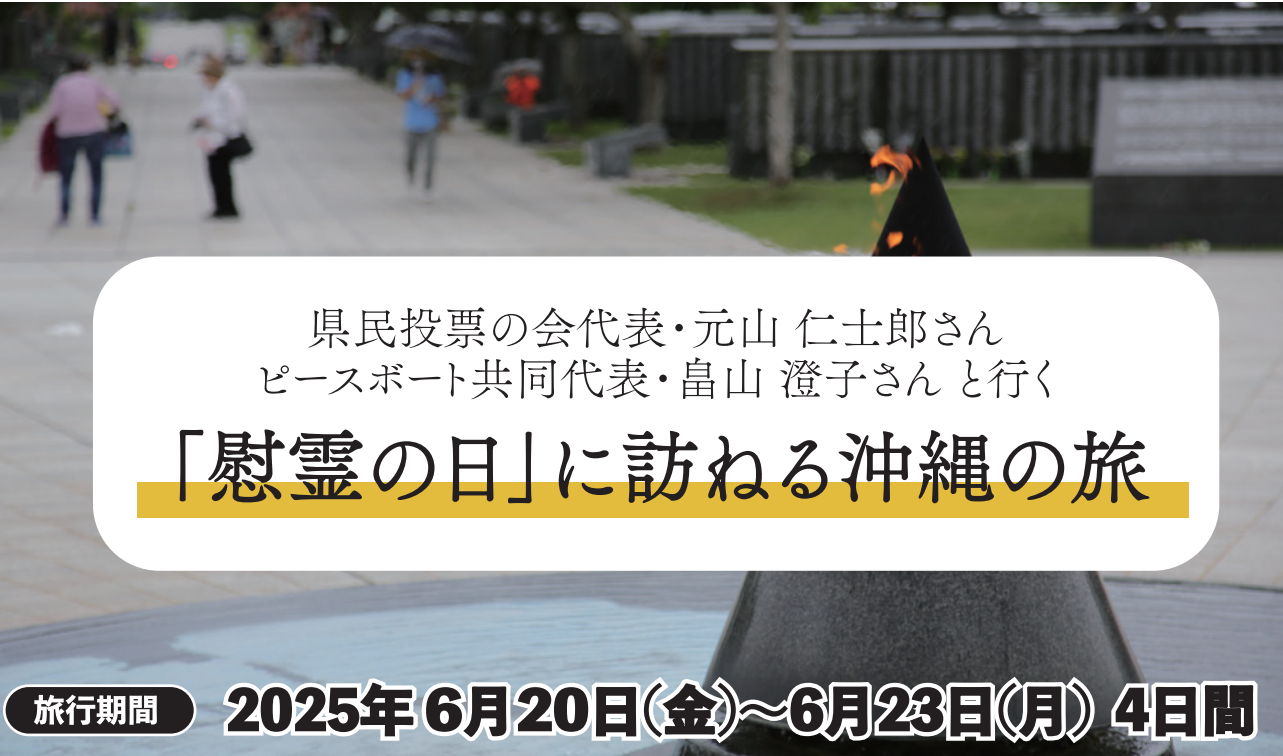
ふりがな		性別	旅行出発時年齢	ふりがな		性別	旅行出発時年齢
氏名		男 女	歳	同行ご家族		男 女	歳
生年月日	年 月 日 生			生年月日	年 月 日 生		
住所	(〒 ー)			出発空港	希望空港に○をお付け下さい↓ 羽田・関西・伊丹・中部・福岡・その他() ※行程表に記載の時刻・ツアー代金は、羽田発着の場合です。羽田以外をご希望の方は、別途、航空便時刻・御料金をご案内いたします。		
電話 FAX 携帯番号 メール	() ー ー () ー ー () ー ー @			参加人数 及び お部屋割り について	□1人部屋希望※一人部屋利用／別途追加料金がかかります。 □2名部屋:()様と同室を希望 □2名部屋:どなたでも良い(男女別)		
旅行中 緊急 連絡先	【連絡先名】 (続柄:) 【住所】 【電話番号】			前泊	各空港周辺の前泊ホテル手配を承っております。 □前泊を希望する(空港周辺)※料金別途ご案内		
アンケート	今回の企画をどこまでお知りになりましたか? ○お付け下さい。 ()						

※大変恐れ入りますが、航空便予約と国内旅行傷害保険加入のため、年齢と性別情報が必要となります。

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金 ②交通費:旅程に明示した航空機(エコノミークラス往復、羽田⇄那覇)、貸切バス代金(旅程表に記載の部分)、ドライブ諸経費、高速・有料道路代、船舶代 ③宿泊費:下記および同等クラスの基本宿泊料および消費税、サービス料(基本2名一室)【那覇市内】コンフォートホテル那覇県庁前または同等クラス ④食事代:旅程表に明示した食事代(朝食3回、昼食3回、夕食2回) ⑤見学費用:旅程表に明示した 見学地の 入場料(自由行動時を除く) ⑥国内旅行傷害保険(死亡 1,000万円、入院1日当たり 6,000 円、通院1日当たり 4,000 円) ⑦添乗員同行費用 ⑧講師謝礼・同行諸経費
■旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
②超過手荷物料金:規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金 ③個人的費用:電話、クリーニング代、追加飲食費用、自由行動時の諸経費 ④ツアー中のお食事の際の飲み物代 ⑤一人部屋追加料金:12,000円(3泊合計) ⑥集合・解散場所までの交通費、前後泊の費用

■お部屋割りについて
基本2名様/1室 ※ホテルの状況によりお一人部屋の手配ができないこともあります。また、相部屋をご希望の場合でも、お部屋割りによりお一人部屋をご利用いただく場合があります。その際は一人部屋追加料金を承ります。あらかじめご了承ください。



県民投票の会代表・元山 仁士郎さん
ピースボート共同代表・畠山 澄子さん に行く

「慰霊の日」に訪ねる沖縄の旅

旅行期間 2025年6月20日(金)~6月23日(月) 4日間

旅行代金 129,000円 (羽田発着の場合) ※羽田空港以外の発着・現地参加希望の方はお問い合わせください。

定員 40名様 (最低実施人員15名) 申込締切 2025年5月23日(金)

添乗員 那覇空港から1名同行します。 ※締切日以降も航空便とホテルに空席があればご参加いただけます。旅行社へお問い合わせください。

ツアー同行者紹介

Profile 元山 仁士郎 さん
もとやま じんしろう



宜野湾市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程。SASPL(特定秘密保護法に反対する学生有志の会)、SEALDs、SEALDs RYUKYUの立ち上げ／中心メンバー。神奈川大学非常勤講師。
2018年4月から大学院を休学し、「辺野古」県民投票を実現する「辺野古」県民投票の会の代表を務めた。2019年1月には県民投票への不参加を表明した5つの市の市長に対してハンガーストライキを行い、全県実施を実現するために尽力した。

Profile 畠山 澄子 さん
はたけやま すみこ



ピースボート共同代表。ピースボートでは広島・長崎の被爆者の証言を世界に届ける「ヒバクシャ地球一周証言の航海」(通称:おりづるプロジェクト)などを中心に「顔の見える国際交流」を主軸に据えた船旅のコーディネートに携わる。国連本部における核兵器禁止条約の交渉会議や締約国会議で被爆者のスピーチを通訳。核軍縮に関する国際会議に参加してきた経験から、核をめぐる国際情勢や市民の役割についてさまざまな場で講演を行う。現在は立教大学や早稲田大学で核のグローバル史を教えるほか、平和や戦争をテーマに体験型・参加型のプログラムも数多く行っている。

Peace Green Humanity
(株)富士国際旅行社

旅行企画・実施

〒231-0062
神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

日程表 元山仁士郎さん・畠山澄子さんと行く「慰霊の日」に訪ねる沖縄の旅				
日次	都 市	時刻	交通機関	日程（宿泊）／食事
① 6月20日 （金）	羽田空港発 那覇空港集合／発 那覇市内ホテル着 夕食場所	午前 12:45 午後 夕刻	航空機 専用車	羽田空港から空路、沖縄・那覇へ （羽田空港集合 午前8時30分頃予定） ＜テーマ：基地問題・沖縄戦＞ ＊読谷村（米軍上陸地碑・シムクガマ・チビチリガマ） ＊嘉手納基地（道の駅からでなから見学） ＊佐喜眞美術館（「沖縄戦の図」） ＊嘉数高台公園（展望台から普天間基地見学） ■参加者夕食交流会
				食事：×・×・夕付／那覇市内ホテル
② 6月21日 （土）	泊港着／発 座間味港着 渡嘉敷港着	午前 昼頃 午後	高速船 船 専用車	泊港から高速船で座間味島へ ＜テーマ：沖縄戦＞ 慶良間諸島見学 午前：座間味島見学 ＊忠魂碑 ＊平和の塔 ＊「集団自決」の碑 ＊躑躅の塔 など チャーター船で渡嘉敷島へ 午後：渡嘉敷島見学 ＊集団自決の碑 ＊白玉の塔 など ＊体験者の証言（予定） ※ご体調によりお話が聞けない場合があります。 再び高速船で泊港へ ■夕食
				食事：朝付・昼付・夕付／那覇市内ホテル
	泊港着	夕方	高速船	
③ 6月22日 （日）	那覇市内ホテル発	午前 午後	専用車	＜テーマ：基地問題＞ 北部見学 ＊恩納村（米軍「核ミサイルメースB基地」跡地） ＊第二護郷隊の碑 ＊新基地建設問題の辺野古 大浦湾をグラスボートで海上から見学 ＊名護博物館 ＊羽地収容所跡 □夕食は各自自由食
				食事：朝付・昼付・×／那覇市内ホテル
	那覇市内ホテル着	夕刻		
④ 6月23日 （月）	那覇市内ホテル発	午前 午後	専用車	＜テーマ：6月23日慰霊の日を沖縄ですぐす＞ ＊シュガーローフ・前田高地 ＊沖縄県平和祈念資料館 ＊沖縄平和祈念公園で行われる「沖縄全戦没者追悼式」 ◆昼食休憩 ＊ひめゆり資料館 那覇空港へ移動
				17時頃、那覇空港到着 空路、各地空港へ （羽田空港到着 21時00分頃予定）
	那覇空港着 那覇空港発 羽田空港着	夕方	航空機	食事：朝付・昼付・×
※現地事情で見学日時・順序が入れ替わる可能性があります。予めご了承ください。				

慶良間諸島の戦争

沖縄戦の縮図

慶良間諸島とは、沖縄本島的那覇市の西方およそ40kmに点在する大小あわせて30余りの島々のことです。沖縄本島攻略のために1945年3月26日、アメリカ軍は真っ先に慶良間諸島へ上陸し、29日には諸島全域を占領しました。「特攻基地」の秘密を外部に漏らさないよう厳しい統制がしかれ、「軍官民共生共死」の方針が徹底されていた慶良間の人々は戦況が悪化してもほとんど島に残りました。大勢の軍隊が小さな島々に駐屯したため、食料不足は深刻でした。また日本軍によりスパイの疑いをかけられた住民や朝鮮人軍夫の虐殺・虐待も発生していました。このような状況の中、米軍上陸からたった3・4日の間に700人もの慶良間の住民が「集団自決」（強制集団死）により犠牲となりました。（参考：「『集団自決』なぜ」行田 稔 新日本出版社）



▲集団自決の地に建つ「白玉の塔」（渡嘉敷島）

6月23日「慰霊の日」と沖縄県営平和祈念公園

1945年6月23日。沖縄の防衛に当たっていた日本軍司令官の牛島満中將やその部下が自決したことにより、沖縄戦における日本軍の組織的戦闘が終結したとされます。沖縄ではこの日を「慰霊の日」と呼び、県内では追悼式が開かれ、平和への祈りに包まれます。公園内の「平和の礎」にはアジア・太平洋戦争から沖縄戦にいたるまでに亡くなった沖縄県出身者すべてと、沖縄戦で亡くなった本土の人、及びアメリカ、イギリス、台湾、朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国の戦没者、計242,046名の名前が刻まれています。（2023年6月23日時点）広場の中央には「平和の火」が灯され、「世界の恒久平和を祈念し、平和情報を発信する場所」とされています。



知っておきたい

辺野古 新基地建設のこと

沖縄本島北部の東海岸にある大浦湾は、多様な生態系を誇り、世界的にも貴重なアオサンゴの群集とジュゴンが生息する海です。そんなキレイな海を望む名護市辺野古では、普天間基地の移設先として辺野古への新基地建設が進んでいます。2018年9月30日投開票された沖縄県知事選では、翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地反対を掲げて初当選した玉城デニー前衆院議員が過去最多となる39万6632票を獲得しました。2019年2月24日に実施された辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票では、県民の7割が反対を示しましたが、国は移設に向けた工事を続けました。「基地がある所は狙われる。二度と悲惨な戦争は起こしてはいけない」「未来を生きる子供たちにきれいな海」を残したいという思いで、多くの人が現在も基地反対の座り込みを続けています。

そして、現在、国は、大浦湾のマヨネーズ並みとされる軟弱地盤の設計変更を沖縄県に国が申請しましたが、県はこれを不承認とし、埋め立て工事はストップしていました。軟弱地盤の改良工事を承認しない県に対して国が行った是正の指示が違法かどうかが争われた裁判で、2023年9月、県の敗訴が確定。その判決により、県は工事する義務を負いましたが、応じない姿勢をとりました。そのため、国は、県に変わって国が代執行を行う訴えを起こし、裁判所は認めました。地方自治法に基づく代執行は初めてで異例の事態です。県は判決を不服として最高裁判所に上告するものの、県側が勝訴するまで代執行を止めることはできず、2024年1月から防衛省は大浦湾の工事を着手しています。



新基地建設が進む大浦湾